

SYOHEI ニュース 令和7年3月号

病院等経営強化プラン・その7 令和5年度の点検評価結果について

市医療局では、経営強化プランの実現に向けて、毎年度その実施状況の点検と評価をしています。令和6年11月に開催した医療政策や医療経営などの有識者で構成される奥州市立病院・診療所経営強化プラン運営評価委員会において、令和5年度の取組について次のような評価を受けました。

<各施設で取り組んだ主な項目>

総合水沢病院

- ◇ ベッドコントロールナースの配置による病床利用率の向上対策。
- ◇ 救急患者の積極的な受入れ。
- ◇ 全身MRIによるガン検診の促進。

まごころ病院

- ◇ 地域包括ケア病床の増床。
- ◇ 連携室の活用による関係機関との連携強化。

前沢診療所

- ◇ 心療内科の専門性を活かした医療提供。

衣川診療所

- ◇ 遠隔診療車を活用したオンライン診療。

衣川歯科診療所

- ◇ 地域内唯一のへき地歯科診療所としての医療提供体制の確保。

<運営評価委員会からの意見と評価>

総合水沢病院

- ◇ 地域包括ケア病床や訪問看護ステーションのさらなる充実を望む。
- ◇ 病床利用率向上対策の継続が必要である。

まごころ病院

- ◇ 訪問診療などに総合的に対応し件数は高い数値で安定している。
- ◇ 在宅や介護施設との連携強化やレスパイト入院への対応強化が必要である。

前沢診療所

- ◇ 多くの項目で目標を達成しており経営状況は良好。
- ◇ 地域に私立診療所が増えており、存続の有無を考える必要がある。



衣川診療所

- ◇ 病床利用率が低く、病床維持については議論を進める必要がある。

衣川歯科診療所

- ◇ ほとんどの項目で目標を達成している。
- ◇ 訪問歯科診療の対象者の掘り起こしが課題である。

医療局全体

- ◇ 医師が増員となり医師確保に成果を上げていることを評価する。
- ◇ 医業収益は強化プランの目標値を比較し差が10%以内となり概ね達成、医業費用は減少し目標を達成している。
- ◇ 高齢者人口の増加に対応できるよう在宅医療の体制強化や高齢者救急の受入体制の強化の必要がある。
- ◇ 病床削減、ダウンサイジングやサテライト化の検討が必要である。

令和5年度実績			
医療機能や医療の質、連携強化等にかかる数値目標			
指 標	目標(A)	実績(B)	増減比較(B/A)
医師数	25人	25人	100.0%
入院患者数	31,619人	29,715人	94.0%
外来患者数	124,348人	113,868人	91.6%
救急車搬送者数	890人	1,092人	122.7%
救急患者受入数	1,580人	1,460人	92.4%
訪問診療件数	1,289件	1,328件	103.0%
訪問看護件数	6,700件	6,832件	102.0%

※ 救急患者受入人数には救急搬送者数を含まない

経営指標にかかる数値目標		目標	実績
区 分		目標	実績
収益改善に係る目標	経常収支比率	90.3%	91.7%
	医業収支比率	62.5%	62.8%
	修正医業収支比率	57.7%	57.6%
	累積欠損金比率(※2)	62.8%	65.1%
収入確保に係る目標	1日当たり平均患者数	入院 86.4人 外来 511.7人	81.2人 496.7人
	患者1人1日当たり診療収入	入院 36,392円 外来 9,687円	34,938円 9,685円
	病床利用率	53.3%	50.1%
	経費削減に係る目標	材料費 19.6% 委託費 19.6% 職員給与費 100.7% 減価償却費 9.8%	17.7% 21.2% 98.7% 10.4%
経費の安定化に係る目標	常勤医師数	25人	25人
	常勤看護師数	153人	142人

<今後の取組について>

令和6年度の取組については、毎月各施設で確認検証をしたうえで3か月ごとに医療局内での点検を実施しています。

そこで成果と課題を確認して継続的な改善活動に繋げることで、強化プランの実効性を高めていきます。

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です。
令和7年2月27日発行 奥州市医療局医師確保推進室
〒023-0053 奥州市水沢大手町3-1 TEL0197-25-3833
市医療局HPにバックナンバーを掲載しています。 第59号

城下町の趣を残す水沢の市街地。その一角にある市武家住宅資料館では、1 月 28 日から 3 月 9 日までの間『雛人形展』を開催し、ことしも多くの観光客を楽しませた。『くくり雛まつり』もこの期間中に開催され、同館はその会場の一つにもなっている。

中でも、くくり雛とは一風違って、ひとときわ歴史を感じさせる『古今雛』は、古代雛に江戸の人形師が意匠を加え人気を博したもの。現在のひな人形の原型ともいわれている。

平成 25 年 2 月、市が寄贈を受けたこの古今雛。葛西氏の元家臣で、近世を通して商人であった松本家において、長きにわたり保管されてきた。明治初期に、一関の旧藩主・田村氏から松本家が譲り受けたと言われている。

城下町水沢に、春の訪れを告げる古今雛。その伝統の趣は、見る者を歴史と幻想の世界へと誘う。



雛と女雛、合わせて 11 体の古今雛。年に一度、ひな人形展の期間のみ披露される古今雛のほか、市武家住宅資料館では 1862 年に作られたくくり雛も展示

イベントニュース：奥州水沢くくり雛まつり

第 24 回奥州水沢くくり雛まつりは、令和 7 年 2 月 27 日(木)から 3 月 3 日(日)までの間、メイプル 1 階特設会場・奥州市武家住宅資料館・みずさわ観光物産センター 2 階催事場で開催されます。



奥州水沢に春を告げるくくり雛



くくり雛は「押し絵」の技法で作られた雛人形のことで、水沢地方独特の呼び名です。厚紙の部品の上に綿をのせ、布で包み組み合わせて押し絵に仕上げていきます。水沢地方では、綿を布で包むことを「くくる」ということから「くくり雛」と呼ばれています。

■男雛と女雛の合わせて11体の古今雛。
年に一度、ひな人形展の期間にのみ披露
される ■古今雛のほか、市武家住宅資
料館では1862年に作られたくくり雛も
展示



Oshu Heritage

奥州遺産

No.42

「ときを越え
受け継がれるもの」

古今雛

＝市武家住宅資料館内＝

城下町の趣を残す水沢区の市街地。その一角にある市武家住宅資料館では、1月28日から3月9日までの間「ひな人形展」を開催し、ことしも多くの観光客を楽しませた。「くくり雛まつり」もこの期間中に開催され、同館はその会場の一つにもなっている。

中でも、くくり雛とは一風違って、ひととき歴史を感じさせる「古今雛」は、古代雛に江戸の人形師が意匠を加え人気を博したものだ。現在のひな人形の原型ともいわれている。

平成25年2月、市が寄贈を受けたこの古今雛。葛西氏の元家臣で、近世を通して商人であった松本家において、長きにわたり保管されてきた。明治初期に、一関の旧藩主・田村氏から松本家が譲り受けたと言ひ伝えられている。城下町の水沢に、春の訪れを告げる古今雛。その伝統の趣は、見る者を歴史と幻想の世界へと誘う。

奥州水沢くくり雛まつり

更新日：2025 年 01 月 14 日 ページ ID：480

【写真：奥州水沢に春を告げるくくり雛】

水沢地方伝統の優美なくくり雛の展示のほか、くくり雛作り体験コーナーが設けられます。

また、同時期には第 31 回城下町水沢のひな人形展も開催されます。（開催期間：1 月 29 日（水曜日）～3 月 9 日（日曜日）、場所：奥州市武家住宅資料館）



【くくり雛について】

くくり雛は「押し絵」の技法で作られた雛人形のことで、水沢地方独特の呼び名です。厚紙の部品の上に綿をのせ、布で包み組み合わせて押し絵に仕上げていきます。水沢地方では、綿を布で包むことを「くくる」と言うことから「くくり雛」と呼ばれています。

くくり雛の起源は江戸時代中期にさかのぼり、その後、水沢の画人、砂金竹香（いさごちっこう）が女性や子供達に教え伝え、明治時代から大正時代に盛んに作られました。内裏雛や三人官女、五人囃子のほか、歌舞伎やおとぎ話などを題材にしています。くくり雛の背面には竹などの串がつけられ、木製の台にこの串を挿し、ひな壇に飾ります。

【奥州水沢くくり雛まつりの詳細】

[令和 6 年度くくり雛まつりチラシ\(PDF ファイル:7.2MB\)](#)

[令和 6 年度くくり雛まつりポスター\(PDF ファイル:10MB\)](#)

開催期間	令和 7 年 2 月 27 日（木曜日）～3 月 3 日（月曜日） 10 時 00 分～16 時 00 分
会場	メイプル 1 階特設会場（奥州市水沢字横町 2-1） 奥州市武家住宅資料館（奥州市水沢字吉小路 43） みずさわ観光物産センター2 階催事場（奥州市水沢西町 1-1）
内容	水沢地方伝統の優雅な「くくり雛」の展示・公開 くくり雛作り体験コーナー（令和 7 年 2 月 28 日（金曜日）及び 3 月 2 日（日曜日）に実施予定。事前の申込みが必要です。）
その他	くくり雛作り体験の申込みとお問合せは、 （一社）奥州市観光物産協会（外部リンク） までお願いします。 電話番号：0197-22-7800
アクセス	（メイプルまで） 東北本線 水沢駅から徒歩 10 分 東北新幹線 水沢江刺駅から車で 15 分 東北自動車道 水沢インターチェンジ、奥州スマートインターチェンジから車で 15 分